

様式第2号の1－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1－①を用いること。

学校名	愛生会看護専門学校
設置者名	社会医療法人 愛生会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護科3年課程	夜・通信	95単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

訪問によりシラバス閲覧可能(冊子)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	愛生会看護専門学校
設置者名	社会医療法人 愛生会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	① 運営会議 ② 自己点検自己評価委員会
役割	① 教育計画、学生募集、入学試験選考、学校管理運営全般に関することへの意見を述べ、協議している。 ② 年2回以上自己点検自己評価委員会を開催、自校の教育に関する事項の評価及び改善に努めている。その自己評価から学校評価報告書を作成している。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
理事長	評価時の数か月	
法人本部長	評価時の数か月	
（備考）		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	愛生会看護専門学校
設置者名	社会医療法人 愛生会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
・ 授業計画書は、教務会議や学校評価委員会で検討し、各領域で決定しシラバスに掲載している。評価については、授業資料として1冊にまとめている。 ・ 全課程の科目については、「学習の手引き」として全学年に配布している。入学ガイダンス、保護者会で入学生とその父母等に説明している。 ・ 公表の時期は、3月に翌年度の授業計画を決定し、4月の入学ガイダンス・学年ガイダンスで説明している。また授業開始時には担当者から再度詳細を説明している。 一般には、希望時に閲覧できるようにしている。	
授業計画書の公表方法	訪問により閲覧可能
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
・ 本校では、全ての授業科目（臨地実習を含む）において、規定の時間を終了し、各々の試験方法により学生の理解状況を判断し、細則6条に則り成績評価として点数化し、標語に置き換え単位を認定している。 ・ 1年次・2年次の年度末及び3年次の2月に「卒業及び単位認定会議」を設け、在籍している全学生の履修単位の認定を校長以下全職員で確認している。 ・ 評価方法については、科目担当者がシラバス等で学生に提示している。臨地実習においては、「実習要項」にルーブリック評価を設け提示し、適宜評価会を設け基準の統一化を図っている。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・ 科目の成績評価基準は、90 点～100 点を「秀」、90 点未満～80 点以上を「優」、80 点未満～70 点以上を「良」、70 点未満～60 点以上を「可」とし 60 点以上を合格、単位認定としている。60 点未満～0 点は「不可」不合格となる。 ・ 学年末に当該学年で終了した科目の成績評価（得点）の平均点を算出し、学修状況の課題分析に努める。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	訪問により閲覧可能
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・ 学則第 23 条、24 条に則り、所定の期間在学、所定の単位（102 単位）を修得した者及び、全ての科目単位の修得及び欠席日数を出席すべき日数の 3 分の 1 を超えない者で、卒業認定会議を経て、校長の認定を受ける。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学習の手引き（手渡し）

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	愛生会看護専門学校
設置者名	社会医療法人 愛生会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	訪問により閲覧可能（事務局に書類設置）
収支計算書又は損益計算書	訪問により閲覧可能（事務局に書類設置）
財産目録	訪問により閲覧可能（事務局に書類設置）
事業報告書	訪問により閲覧可能（事務局に書類設置）
監事による監査報告（書）	訪問により閲覧可能（事務局に書類設置）

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療分野		医療専門課程	看護科	医療専門士			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3050 時間／102 単位 単位時間／単位	2130 時間 /79 単位	単位時間 /単位	920 時間 /23 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		75 人	0 人	13 人	89 人	102 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ① 看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン別紙表3に準拠し、本校の教育目的、教育目標を到達すべく内容を精選している。 ② 基礎分野に関しては、病院等で患者と関わっている医師、医療従事者に依頼している。講師の多くは現任者であるため、実体験をもとに教授し、臨床で活用可能なものとしての学習内容となっている。授業方略は、校内実習や演習を取り入れている。また、専門分野、専門分野（臨地実習）の90%以上を本校の専任教員が担当し、各々の臨床体験を活かして教授している。授業方法はアクティブラーニングを積極的に取り入れ、主体的に学習に取り組んでいる。 ③ 全課程の科目についてシラバスを作成し、「学習の手引き（刊行物）」として全学生に配布している。入学時、新年度のガイダンス、実習オリエンテーション等適時説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） ・ 本校では、すべての授業科目（臨地実習を含む）において、規定の時間を終了し、各々の試験方法により学生の理解状況を判断し、細則6条に則り成績評価として点数化し、標語に置き換え単位を認定している。 ・ 1年次・2年次の年度末及び3年次の2月に「卒業及び単位認定会議」を設け、

在籍している全学生の履修単位の認定を校長以下全職員で確認している。 ・評価方法については、科目担当者がシラバス等で学生に提示している。臨地実習においては、「実習要項」にルーブリック評価を設けて提示し、適時評価会を基準の統一化を図っている。 ・科目の成績評価基準は、90点～100点を「秀」、90点未満～80点以上を「優」、80点未満～70点以上を「良」、70点未満～60点以上を「可」とし60点以上を合格、単位認定としている。60点未満～0点は「不可」不合格となる。 ・学年末に該当学年で終了した科目の成績評価（得点）の平均点を算出し、学修状況の課題分析に努める。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・学則第23条、24条に則り、所定の期間在学、所定の単位（102単位）を修得した者及び、全ての科目単位の修得及び欠席日数を出席すべき日数の3分の1を超えない者で、卒業認定会議を経て、校長の認定を受ける。
学修支援等
（概要） ・法人内の奨学金制度 ・日本学生支援機構奨学金

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37人 (100%)	0人 (%)	33人 (%)	4人 (%)
（主な就職、業界等） 法人病院、総合病院			
（就職指導内容） 就職ガイダンス			
（主な学修成果（資格・検定等）） 第114回看護師国家試験 合格率89.1%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	4人	9.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 専任教員の面接等		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
看護科	200,000 円	720,000 円	24,000 円	その他は、実習教材費(年間)別途 テキスト・副読本(電子及び紙媒体、iPad レンタル料)、実習ユニフォーム代等 405,000 円
修学支援（任意記載事項）				
当法人より奨学金制度 年間 480,000 円（給付型・貸与型）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.aiseikai-hc.or.jp/ai-kango/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
当該学校の教職員以外の者で当該学校と密接な関係のあるものが、自己評価結果を評価すること等を通じて、学校の課題について共通理解を深めて連携を促し、学校運営、教育活動の改善に協力してあたることを目的として行う。 （愛生会看護専門学校評価実施規定に準ずる。）		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
法人	評価時数か月	理事長
法人	評価時数か月	法人本部長
法人	評価時数か月	法人本部 総務部総務課長
法人	評価時数か月	法人本部 経営企画部課長
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 運営会議を開催し、会議の承認を受けた後、学校評価結果を社会に公表するものとする。		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.aiseikai-hc.or.jp/ai-kango/
--